

医学系研究科 保健学専攻

学位プログラム： 保健学研究（医療画像技術科学）

授与する学位： 博士（保健学）

教育目標

大阪大学及び医学系研究科保健学専攻の教育目標のもと、学位プログラム「保健学研究プログラム（医療画像技術科学）」では以下の教育目標を定めています。

次のような能力を備えた、将来の高度な医療を担い、独創性に富んだ医学研究を遂行できる人材の育成を目指しています。

○最先端かつ高度な専門性と深い学識

放射線医学及び放射線技術学の発展へ貢献できる研究を推進するため、最先端かつ高度な専門性と深い学識を教授します。

○高度な教養

入学までに養って来た教養と経験、深い専門知識を十分に活かし、後進の医療者、研究者に対する指導能力を育成します。

○高度な国際性

グローバル社会に必要な語学力と自身の研究を海外に広く発信するためのプレゼンテーション能力を備えた人材の育成を目指します。

○高度なデザイン力

研究論文作成を通じて自分でものを考える能力や種々の問題を解決できる高度なデザイン力を養成し、臨床、研究の両面で活躍できる人材を育成します。

○独自の教育目標

医療画像技術科学をより深く理解するため、関連分野に関しても連携機関の人材を駆使し、教授します。

「保健学研究プログラム（医療画像技術科学）」では放射線技術科学の高度な知識と技術をもとに、国内外の医療研究機関でリーダーシップを発揮し、問題解決に取り組むことができる人材の育成をします。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

大阪大学及び医学系研究科保健学専攻のディプロマ・ポリシーのもと、学位プログラム「保健学研究プログラム（医療画像技術科学）」では、医療画像技術科学の先端分野において知的リーダーシップを発揮できる人材を育てる教育目標のもと、以下にあげるような能力を修得した学生に博士（保健学）を授与します。

○最先端かつ高度な専門性と深い学識

- ・医療画像技術科学分野の高度な専門性と深い学識を得るために、主体的かつ継続的に学修する能力を有している
- ・最先端の高度専門的知識体系を総合的に活用しながら、文化、社会、環境に関連づけてグローバルな視点で理解できる

○高度な教養

- ・高い倫理観と高度な教養を身につけ、医療・医学のプロフェッショナルであるという自覚のもとに行動できる
- ・医療画像技術科学分野の発展のためにリーダーシップをとることができる

○高度な国際性

- ・英語を用いて必要な情報を多面的に収集し、情報発信することができる

○高度なデザイン力

- ・医療画像技術科学における新たな課題を探究するための柔軟で横断的な想像力を身につけている
- ・問題を主体的に解決するための実践的な方法をデザインできる
- ・得られた情報を客観的に整理、分析し、科学的根拠の下に論理的に考察することができる

○独自の学習目標

- ・医療被ばく低減策、被ばくを伴わない新規画像診断法の開発など、放射線医学をより発展させた最新の知識を修得する

先端科学や社会的に重要な領域の研究を通じて、学習目標を達成し、高度医療者・研究者を養成します。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

大阪大学及び医学系研究科保健学専攻のカリキュラム・ポリシーのもと、学位プログラム「保健学研究プログラム（医療画像技術科学）」では以下のとおりカリキュラム・ポリシーを定めています。

<教育課程編成の考え方>

ライフサイエンスの国際的・一大情報発進基地として発展しつつある大阪大学の物的あるいは人的資源を活用し、国際的指導性、コーディネーション及びコミュニケーション能力を有する人材の養成を目指します。医療画像技術科学領域において独創的な研究をデザインし遂行する能力、研究チームリーダーとして研究組織を牽引できる力を養います。

<学修内容及び学修方法>

博士後期課程では独創性の高い医学研究を遂行するだけでなく、その内容を国際論文として発表し、博士論文を作成します。最先端の医学知識の取得、研究デザイン力を養うため、専攻の講義、セミナーに参加します。連携大学院講座・寄附講座・共同研究講座における研究、さらに海外の大学での研究も可能です。その傍らで、リサーチアシスタントやティーチングフェロー制度により、学生や後進に対して研究指導できる能力を育成します。

<学修成果の評価方法>

博士論文の作成は、研究遂行力、発表能力の鍛錬だけでなく、科学者としての高い倫理性と強い責任感、課題遂行力の涵養を目指しています。論文は国際的な学術雑誌に掲載採択されるだけの高いオリジナリティと卓越した研究成果を有することが必要となります。

研究を立案し、データを解析し、科学論文としてまとめることは貴重な経験になります。そのような研究結果を公正な査読を受け、世界に情報発信することは高度医療職・研究者のキャリアにおいて大変重要なステップです。「保健学研究プログラム（医療画像技術科学）」では大学院生活を多彩なスタッフと教育システムで支えます。

医学系（保健学専攻）医療画像技術科学 博士 カリキュラムマップ

	研究科学学習目標					1年				2年				3年				
	専門性 と深い学識	最先端かつ高度な教養	高度な国際性	高度なデザイン力	独自の教育目標	春学期	夏学期	秋学期	冬学期	春学期	夏学期	秋学期	冬学期	春学期	夏学期	秋学期	冬学期	
高度な教養 ○高い倫理観と高度な教養を身につけ、医療・医学のプロフェッショナルであるという自覚のもとに行動できる		○				共通科目												
○医療技術科学分野の発展のためにリーダーシップをとることができる				○														
最先端かつ高度な専門性と深い学識 ○医療技術科学分野の高度な専門性と深い学識を得るために、主体的かつ継続的に学習する能力を有している	○					特講・演習 超音波診断f学、トレーサー情報解析学、理論画像診断学、医用光エレクトロニクス、応用画像処理工学、放射線腫瘍学、医用画像工学 ※演習の履修条件：特講の単位を修得していること												
○最先端の高度専門的知識体系を総合的に活用しながら、文化、社会、環境に関連づけてグローバルな視点で理解できる	○	○	○	○														
独自の学習目標 ○医療被ばく低減策、被ばくを伴わない新規画像診断法の開発など、放射線医学をより発展させた最新の知識を修得する	○				○													
高度なデザイン力 ○問題を主体的に解決するための実践的な方法をデザインできる				○														
○ 医療技術科学における新たな課題を探究するための柔軟で横断的な想像力を身につけている				○														
○得られた情報を客観的に整理、分析し、科学的根拠の下に論理的に考察することができる				○				医療技術科学特別研究										博士論文発表会
高度な国際性 ○英語を用いて必要な情報を多面的に収集し、情報発信することができる	○		○	○														